

岩国医療圏地域医療構想調整会議
（令和 7 年度第 1 回）議事概要

【日 時】 令和 7 年 8 月 1 9 日（火） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

【開催方法】 山口県岩国総合庁舎 1 階 共用第 8 会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。
- 岩国みなみ病院、山口平成病院、岩国市立錦中央医院及び岩国市立美和病院の病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行い、新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。

- 1 令和 7 年度地域医療構想調整会議の進め方について
- 2 令和 6 年度病床機能報告結果について
- 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の予定、新たな地域医療構想の国の検討状況、地域医療介護総合確保基金の期間延長等について、説明を行った。

また、令和 6 年度病床機能報告結果について説明を行った上で、地域医療構想の進捗状況を検証するとともに、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認を行った。

（主な意見・質問等）

- 「新たな地域医療構想における精神医療の位置付け」について、具体的な内容や県の考えはどうか。
⇒ 今後、国が示すガイドラインなどの情報提供をさせていただきながら、地域の皆様や関係医療機関の皆様と議論・検討していきたいと考えている。

- 4 病床数適正化支援事業について

各医療機関等から、病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行った。

岩国みなみ病院の病床削減については、中長期的な人員確保の観点及び人的資源の適正化のため急性期病床を15床削減したこと、新興感染症に係る協定による確保病床については削減後の病床で対応すること及び呼吸器疾患に特化した急性期患者や回復期患者の受入れをしたい意向であること等が説明された。

山口平成病院の病床削減については、近隣医療機関との重複に鑑み慢性期病床のうち10床を削減し2床を回復期病床に転換したこと、新興感染症に係る協定による確保病床については削減後の病床で対応すること並びに当該削減及び転換が地域医療構想の実現に資することが説明された。

岩国市立錦中央医院の病床削減については、限られた人員での持続可能な医療提供体制の構築等のため、急性期病床のうち34床を削減し19床を回復期病床に転換したこと、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと並びに岩国市立美和病院等との連携及び当該削減及び転換が地域医療構想の実現に資することが説明された。

岩国市立美和病院の病床削減については、地域の医療需要に対応した病床数の適正化や人的資源の集約のため急性期病床7床を削減すること、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと及び昨年度までの平均入院患者数に鑑み削減後の病床で対応可能であること等が説明された。

協議の結果、これらの医療機関の病床削減について新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。

(主な意見・質問等)

○ 山口平成病院について、岩国地域で少ない回復期病床2床を確保いただいたが、もう少し増やせなかったか。

⇒ スタッフの確保がかなり厳しく、これ以上増やすことは難しかった。

○ 岩国地域で回復期病床が非常に少ない状況は以前から言われているが、回復期病床にはスタッフの充実が不可欠であり常にネックとなる。

岩国地域では人の確保が非常に難しく、宇部・下関あたりとは全く状況が違うことについて、県には理解いただきたい。

5 かかりつけ医機能報告制度について

県医療政策課から、かかりつけ医機能報告制度について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。